

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	第 4 回伊那弥生ヶ丘高校将来活用 WG			
開催日	2024 年 11 月 21 日(木)			
開催時間	開会	18 : 00	閉会	20 : 30
開催場所	伊那市役所 501 会議室			
出席者				
協議会・WG メンバー	平賀裕子氏、山本風音氏、須永理葉氏、吉岡秀幸氏、大塚純氏			
事務局・職員	商工観光部：柴商工振興課長、林課長補佐 教育委員会：伊藤課長補佐 地域創造課：浦野係長			
関係者	上伊那地域振興局 企画振興課 杉本主事			
欠席者	—			
議事	1. 全体会の WG でやりたいこと。 2. 今後のスケジュール			

議事項目	概要	次のステップ
1、プロジェクトの規模と現状について		
キックオフの全体会の WG で何をやりたいか。	○WG メンバー ・「学びの多様化学校」を勉強して、本当の「学び」をみんなで作っていききたい。 ・勉強会を開いていってもいいなと思う。 ・1 回目の勉強会の日程を決めてしまいたい。 ○WG メンバー ・全体会で一回目をやるときに次の会のアナウンスをした方がよい。期日、時間、場所など。 ○WG メンバー ・毎回、施設規模の資料を出した方がよいと思う。 ○WG メンバー ・勉強会の内容のレポートは公開していきたい。 ・興味のある人達にどういう媒体を使って公開しているのか。 ・勉強会でやったことを蓄積して行って、あとの人でも追いつけるようにしていく。 ○WG メンバー ・1 時間くらいの長さなら弥生ヶ丘高校の施設の規模感の共有はできる。 ○WG メンバー ・県教委が、多様な学びや新しい学びをつくること自体は共感している。	

2 回目から 6 回目
の内容

	・来年の前半に 6 回開いて、残りの期間でまとめていく。開催期間は 1 月半に一回のペース。 ○WG メンバー ・学んだことや皆の意見を入れていって、基本計画みたいなものはつくっていききたい。 ・その計画のもととなるコンセプトを皆で考える。 ・その中心となるものが「学び」の場ということは、前提となってくると思う。 ○WG メンバー ・なぜ「学び」なのかという話はした方がいい。 ・「学び」をクローズアップした根柢の部分の話はした方がいい。 ○WG メンバー ・勉強しながら学びのあり方のコンセプトを皆で作っていく。プラスそれを弥生の場所に、実現可能なものとして落とし込んでいくところまで聞いていくのか。実現可能性の部分はこちらで揉んでいくのか。 ○WG メンバー ・実現可能性の部分はこちらで揉んでいくことになるのでは。 ○WG メンバー ・勉強会を 1 時間、そのあとに勉強したことの実現について考える時間を設けていったらどうか。 ○WG メンバー ・「学び」系の勉強会を 3 回。「活用」系の勉強会を 2 回。 ○WG メンバー ・「学び」については、市外の話ばかりでなく、市内の動きについてもやれたらいい。 ○WG メンバー ・最初急ぐ必要もないようなので、この WG は、勉強会の開催というのを役割としてもよい。	・勉強会の開催とともに施設コンセプトを固めていく。 ・ ・講師への正式な講演依頼は市から。打診は WG から。
2、今後のスケジュール		
・次回の日程	・12 月 24 日（火）18：00 伊那市役所多目的ホール	全体会